

社会学学位プログラム

DPPS・専門基礎(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN051	社会学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を实践を通して養う。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトのいずれかに参画し、課題に取り組む。	OBLA501と同一、01CN053と同時実施。対面(オンライン併用型)それぞれのプロジェクトの担当教員の指示に従うこと
02CN052	社会学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的能力を实践を通して養う。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトの中で、課題に取り組む	OBLA502と同一、01CN054と同時実施。対面(オンライン併用型)それぞれのプロジェクトの担当教員の指示に従うこと
02CN053	社会学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関連する機関でインターンシップを行い実践力を養う。履修希望学生は、申請書に、受入組織、受入組織所在地、受入組織責任者、受入組織担当者、受入期間、就業日数と時間(35時間以上であることが必須)、インターンシップ中の連絡先、補助等を明記し、学生教育研究災害障害保険(インターンシップコース)に加入した上で申請書を提出する。履修が認められインターンシップに参加した後、インターンシップの内容の概要、具体的成果、インターンシップ指導担当者の所見等からなる報告書を提出し、担当教員が評価を行う。	OBLA500と同一。対面(オンライン併用型)担当教員と受け入れ機関の指示に従うこと
02CN054	社会学特別講義I	1	2.0	1-3					本講座では、統計解析に機械学習を応用した統計的手法を紹介する。近年、計算技術の急速な向上とインターネット経由のデータ利用により、機械学習が注目されている。機械学習を応用した統計モデルの中には、人間の能力を超えるほど目覚ましく向上している場合もある。本講座では、こうした最近の動向を、主に「教師あり機械学習」の一分野である回帰モデルを用いて解説する。	The class will be taught in English, with optional explanation in Japanese. 01CN056, 0AL5115と同一。2023年度開講せず。The class will be held online. Open in the even academic years.
02CN055	社会学特別講義II	1	2.0	1-3	秋AB	集中		モウシュク オレクサダー	社会経済事象に関わる国際比較等について講義をおこなう。いくつかの国際データセットを用いながら、生活水準や経済成長率などを例に、国際間比較を行う視点やその相違の背景について学ぶ。次に、それらの事象を説明する経済モデルについて紹介し、実際のデータを用いて計量的に同定するために必要となる基礎的な理論について学ぶ。	The class will be taught in English, with optional explanation in Japanese. 01CN057, 0AL5116と同一。対面(オンライン併用型)
02CN057	社会学ファシリテーター育成プログラムIII	3	1.0	1-3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを展開できる能力を实践を通して養う。「社会学ファシリテーター育成プログラム」は「社会学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトのいずれかに参画し、主体的に課題に取り組むことで、総合的にプロセスを展開できる能力を養う。	OBLA503と同一。対面(オンライン併用型)それぞれのプロジェクトの担当教員の指示に従うこと
02CN058	社会学ファシリテーター育成プログラムIV	3	1.0	1-3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを展開できる能力を实践を通して養う。「社会学ファシリテーター育成プログラム」は「社会学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトの中で、主体的に課題に取り組むことで、総合的にプロセスを展開できる能力を養う。	OBLA504と同一。対面(オンライン併用型)それぞれのプロジェクトの担当教員の指示に従うこと
02CN060	社会学特別講義V	1	1.0	1-3	秋C	集中	3E404	水野 誠		01CN062と同一。対面・オンライン(同時双方向型)

DPPS・専門(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN001	社会学博士特別演習I	2	2.0	1-3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。対面(オンライン併用型)

02CN002	社会学博士特別演習 II	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	学会等において自ら口頭発表を行うことで、研究者として必要なプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。 対面(オンライン併用型)
02CN003	社会学博士特別演習 III	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得ることで評価を受ける。	社会学博士特別演習 IIIの履修は、社会学博士特別演習 Iの履修に先んじることではない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。 対面(オンライン併用型)
02CN004	社会学博士特別演習 IV	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	査読付き学術論文誌に投稿する論文を自ら執筆し、研究者として必要な論文執筆能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。 対面(オンライン併用型)
02CN005	社会学博士特別研究 I	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	審査委員の同席のもと、博士論文における成果の見通しについて発表を行い、論文提出に関して予備審査を受ける。	社会学博士特別研究 Iの履修は、特別演習 I~IVの履修に先んじることではない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。 対面(オンライン併用型)
02CN006	社会学博士特別研究 II	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	審査委員の同席のもと、執筆した博士論文に関して最終発表を行い、本論文の審査を受ける。	社会学博士特別研究 IIの履修は、社会学博士特別研究 Iの履修に先んじることではない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。 対面(オンライン併用型)